

Q5 なぜ薬局で測定をするの？

A 病院など医療機関でしか受けられなかった血液測定を、身近な薬局でしかも短時間に測定できるようにすることで、糖尿病測定へのハードルを低くするとともに、皆さんの健康管理につなげていくことを目的としています。薬局は、国の認可の下、徹底された衛生環境により測定を行うので安心です。

Q6 行田市で糖尿病の患者はどのくらいいるの？

A 糖尿病にかかる人は年々増加傾向にあります。糖尿病の予防・早期発見は、自分の健康を守るだけでなく、医療費の抑制にもつながります。

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
男性	10.7	10.8	12.6	12.5	13.2
女性	6.3	6.2	7.0	6.4	7.3

(「平成25年度版行田市特定健診結果」糖尿病有病者の割合 単位：パーセント)

薬局と医療機関の連携で糖尿病を撲滅!

糖尿病にかかる人をこれ以上増やさないよう、薬局と医療機関が連携して生活習慣の改善に向けた積極的な支援を実施していきます。また、歯科医師は、歯科検診などを通して、口腔状態から糖尿病にかかるリスクを判断し、手軽で簡単な糖尿病測定を勧めます。このように、糖尿病撲滅に向けて薬局と医療機関が連携した取り組みは県内では初となります。

▶問い合わせ 保健センター成人担当
☎553-0053

Q7 測定はいつから受けることができるの？

A 4月1日(休)から受けることができます。

Q8 どの薬局で測定ができるの？

A 行田市薬剤師会会員薬局のうち、次の11薬局で測定できます。

薬局名	住所	電話番号
かもみ漢方薬局	行田8-5	556-2209
さくらヶ丘調剤薬局	小見1399-6	553-5211
トーア薬局	長野1263-7	556-1402
土橋薬局	桜町2-25-13	556-2226
パルシィー薬局行田長野店	長野2-29-38	556-4193
フジイ薬局	若小玉111-1	554-5482
ふじみ薬局	富士見町2-3-8	564-1616
フレンド薬局	宮本16-24	501-8661
ミキ薬局埼玉行田店	佐間1-27-3	555-3191
薬局アポック行田店	富士見町2-17-1	564-1200
よつば薬局	富士見町2-1-12	552-1193

薬局でお手軽カンタン糖尿病チェック
~糖尿病の予防・早期発見で ずっと健康 ずっと笑顔~

糖尿病は、自覚症状がないままに進行していく恐ろしい病気です。日々の健康管理はもちろん、糖尿病にかかるリスクを早期に発見し、治療へとつなげることで「いつまでも生き生きとした生活」を手にすることができます。市民の皆さん、薬局から始まる健康づくりがスタートしますので、ぜひご利用ください。

Q1 どんな測定をするの？

A 指先からごくわずかな血液を採取し、測定装置に入れるだけです。この測定は、赤血球中のHb(ヘモグロビン)に糖分がどのくらい付着しているかを見るもので、糖尿病のリスクを判定するものです。約3分で結果が判明します。

Q2 測定でどんなことが分かるの？

A 糖尿病と密接な関係にある血中のHbA1c(ヘモグロビン・エイワンシー)の値から、糖尿病にかかるリスクがわかります。測定の結果、リスクが高い人または治療が必要な人に対しては、薬剤師が医療機関への受診や生活習慣の改善を促します。

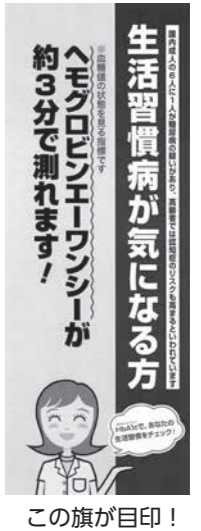
HbA1cの値	判定
6.0%以上	糖尿病予備軍の疑い
6.5%以上	糖尿病が強く疑われる

Q3 測定にはいくらかかるの？誰でもできるの？

A 市民の皆さんを対象に、1回につき500円で測定できます。薬局の窓口で用意している申込用紙に必要事項を記入し、測定を受けてください。年間の測定回数に制限はありませんが、抗血栓薬の服用や出血性疾患のある方は測定できません。

Q4 年齢制限はあるの？

A 未成年者が測定する場合は、親権者の同意が必要となります。



この旗が目印!

在宅医療・介護連携に関する多職種合同意見交換会が行われました

2月19日、総合福祉会館「やすらぎの里」で「在宅医療・介護連携に関する多職種合同意見交換会」が行われました。

この意見交換会は、団塊の世代が後期高齢者となる平成37年を見据え、在宅医療と介護との連携を密にし、何歳になっても住み慣れた地域で住み続けることができる地域社会を目指すために行われたもので、本市では初めての試みとなります。当日は、医師や歯科医師、薬剤師、ケアマネジャーやホームヘルパーなど市内の医療・介護関係者69人が参加し、「市内の在宅医療と介護連携における課題や問題点」をテーマに、職種の垣根を越えた活発な意見交換が行われました。

参加者からは、「多職種が集まって話し合う機会はとても重要」「施設、事業所、組織の枠を越えたコミュニケーションが必要」といった、意見や課題が出されました。今後も、意見交換会を実施する予定で、今回の意見を基に、医療と介護をうまく連携させるための対策を議論していきます。

▶問い合わせ 高齢者福祉課地域支援担当(内線278)



在宅医療・介護連携に関する多職種合同意見交換会の様子

健康づくりを応援

市内5カ所に健幸案内所を開設しました

健康づくりに関する身近な相談場所として、4月1日(休)から「健幸案内所」を開設し、「健幸コンシェルジュ(保健師などの専門職)」が市民の皆さんの求めに応じて、一人ひとりに合った健康づくり活動を紹介します。

自分の健康状態を知りたい方、健康づくりを始めたい方、健康に自信のない方は、ぜひお気軽にご利用ください。

健幸案内所では、次のことを実施します

- 健康づくり活動に関する事業、催し、団体、施設などの紹介
- 特定健診やがん検診の受診案内
- 現在の身体機能(脚力や歩幅)の確認(案内所にある器具で簡単に調べることができます)

※無料で利用できます。

健幸案内所一覧

名称	住所	電話番号	対象地区
総合健幸案内所 (保健センター健康づくり支援担当)	本丸2-5 (市役所2階)	556-1111 (内線378)	市内全域
健幸案内所 緑風苑 (地域包括支援センター緑風苑内)	須加1529	557-3611	北河原・須加・長野・佐間
健幸案内所 まきば園 (地域包括支援センターまきば園内)	白川戸275	550-1777	行田・荒木・星河・星宮・南河原
健幸案内所 壮幸会 (地域包括支援センター壮幸会内)	下忍1162-14	552-1123	太井・持田・下忍
健幸案内所 ふあみいゆ (地域包括支援センターふあみいゆ内)	下須戸75	558-0088	忍・太田・埼玉

▶問い合わせ 保健センター健康づくり支援担当(市役所内・内線378)